



2010年1月15日

ロイヤル・カリビアン・クルーズ  
ハイチ地震への対応について 続報

ハイチにあるロイヤル・カリビアン社所有のプライベート半島、ラバディーの現在の状況をお知らせいたします。ラバディーは被害の大きい首都ポルトープランスから約160km離れた場所にあり、地震による被害はございませんでした。クルーズ客船も通常通りの寄港を予定しております。

1月15日(金)/東部標準時に、インディペンデンス・オブ・ザ・シーズが地震後はじめて入港します。寄港スケジュールは予定どおりです。ラバディーの港湾施設、アトラクション等に見た目のダメージはございましたが、インディペンデンス・オブ・ザ・シーズにエンジニアが乗船し、到着次第、港湾設備、アルパインコースター、ジップラインの点検を行う予定です。

- \* ジップラインは点検が終了するまで運転を中止します。アルパインコースターは運転されません。
- \* 現地のセキュリティオフィサーが12時間交代で警備に当たります。また民間の警備会社に武装警備員3名の派遣を依頼し、15日の18:00よりロイヤル・カリビアン社私有地の入口に配備します。また、今までどおりハイチの警官4名も常駐します。港湾設備は、インディペンデンス到着前の30分間で点検を行い、その後お客様に下船していただく予定です。
- \* ラバディーのマネージャーはロイヤル・カリビアン社マイアミオフィスと連絡を取り合っておりますが、携帯電話の電波にムラが発生しています。インディペンデンスで、現地に衛星通信電話を持ち込む予定です。
- \* ラバディーでは万が一避難が必要となった場合に備え、テンドーボートなど全ての準備を完了しています。
- \* ラバディーからハイチの人々へ、米、とうもろこし、豆類、食用油、小麦粉、乾麺、粉ミルク、シリアル類、粉末スープ、水、ジュース、ライター、栓抜、石鹸、歯ブラシ、浄水錠剤、シャベル、つるはし、一輪車などの救済物資が提供されています。
- \* ハイチでの途中下船は、ハイチパスポート保持者
- \* インディペンデンス・オブ・ザ・シーズの寄港によりラバディーで消費されたお金は、全額ハイチに寄付いたします。
- \* ラバディーに届けられる食料や救援物資は引き続き、ハイチの人々にお渡しします。インディペンデンス・オブ・ザ・シーズは米や麺類、粉ミルクなど追加の食料物資を積み込み、ラバディーに向かっています。

以上